



遠藤 浩 議員

財産管理

公共施設の管理方針は

町長／令和2年度までに計画策定

遠藤 「広野町公共施設等総合管理計画」では、改修や更新、長寿命化への対応が課題であり、公共施設等の維持管理における方針を明確にし、財政負担の軽減・平準化と最適な配置を行うとしているが、①町内における旧耐震基準建築物に該当する公共施設はどこか。②現在も東日本大震災の余震とされる地震が発生しており、旧耐震基準建築物は早急に改

修や更新あるいは統廃合を行う必要があると考えるが、計画はこの様になっているか。③地区の集会所や団体の利用に加え、災害時の避難場所となる集会所は重要な施設だが、屋根や玄関照明など破損したままの状態になっている場所もあるようだが、修繕等の計画はこのようになっているか。

町長

①昭和56年度以前の建築物が該当となりません。②令和2年度までに個別施設毎の具体的な計画を策定します。③令和2年度の個別施設計画策定を踏まえ、計画策定に向けた調査業務を実施します。

グローバル教育

活かすための取り組みは

教育長／海外教育派遣などを実施

遠藤

広野町幼小中魅力化検討委員会から提言書が提出され町内における「魅力ある広野町の教育」がスタートしたが、①ICT(情報通信技術)を活用し、ふたば未来学園中学校との連携による多様性や専門性のある教育の実現に向けた取り組みをしているか。②グローバル教育や個性を生かす教育の実現に向けた教育環境の取り組みは。③「魅力ある広野町の教育」がスタートしてから間もなく1年となります。新たなチャレンジから見えてきた教育現場での課題は。

教育長

①広野小学校・中学校においてICT機器の環境整備を進めている。今後は、広野小・中の連携を充実させ、ふたば未来学園との連携を促進するとともに、教職員ICT活用のもと取り組んでいきます。②こども園・小学校・中学校での英語指導助手(ALT)の活用、小学5年生、中学1年生のブリティッシュヒルズでの異文化交流宿泊体験活動、中学2年生の海外教育派遣事業などを実施しています。③広野町教育大綱、広野町教育ビジョン、魅力ある教育をしっかりと検証し教職員と子どもたちがのびのびと学習できるよう学校当局としっかりと連携を図り、保護者の理解を得ながら魅力ある教育の実現に取り組んでいきます。



ホストファミリー

健康増進

町の現状と取り組みは

町長／町民と共に課題解消めざす

門馬

この3月に「第2次はつらつ広野元気プラン」が策定されました。計画は10年間の活動と10年後の健康づくりの成果目標があげられていますが、①特定健診の受診率は東日本大震災の前後で比較し受診率に変化はありますか。

②特定健康診査、特定保健指導の国の目標は60%と示されていますが、国の示す目標と比較して低い場合は、町に何らかのペナルティーが課せられるのでしょうか。③健康診断の結果や統計データやアンケート調査等から町として対応策をどのように考えていますか。

町長

①国民健康保険被保険者の特定健診受診率の変化は平成22年度が42%、平成30年度が49%であり、特定健診の周知活動、受診勧奨の結果、特定健診受診率が向上しています。②国の目標値60%より低いという点のみでの町へのペナルティーはありません。③保健師による家庭訪問や特定保健指導、特定健診結果説明会、運動、糖尿病予防や減塩料理の教室などに取り組んでいます。町民や団体と健康課題を共有し、健康課題の解消に努め、福祉のまちづくりに取り組めます。

防災行政広報無線

童謡の町アピールを

町長／学校と協議して検討

門馬

夏休みの広報で小中学生に対して夕方「早く帰りましょう」と毎日広報していましたが、私達の町は平成29年童謡文化賞もいただき童謡の町として活動しています。童謡を流して小学生が中学生の声で町内の子ども達に呼びかけてはと考えるが町長の考えは。

町長

現在、朝、昼、夕の時報をお知らせする際は、「汽車」、「広野賛歌」及び「とんぼのめがね」のメロディを使用している状況です。防災行政広報無線のあり方について、より良い子供たちの安心・安全のため、防災行政広報無線の運用について学校当局と協議し検討します。



門馬まりえ 議員



役場屋上の防災行政広報無線